

尼崎駅での信号確認の原因と対策について

2025年2月9日に、JR神戸線 尼崎駅で発生させた信号の確認について、原因が判明しましたので対策と合わせてお知らせします。お客様にご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げますとともに、再発防止に努めます。

1 発生日時

2025年2月9日（日）10時46分頃

2 発生場所

JR 神戸線（東海道本線） 尼崎駅 構内

3 列車名

上り快速電車 8両編成

姫路駅（9時17分発） 米原駅（12時43分）行

4 概 況

10時46分頃、当該電車の運転士は、尼崎駅停車中に尼崎駅から大阪駅方面へ進出する信号が正常に点灯していないことを認めました。そのため、JR 京都線・JR 神戸線では京都駅～西明石駅間で順次運転を見合わせていましたが、作業が完了し11時57分に運転を再開しました。再度、信号の確認を行うため、JR 京都線・JR 神戸線では12時42分から京都駅～西明石駅間で順次運転を見合わせていましたが、復旧作業が完了し14時00分に運転を再開しました。

※新快速・特急列車については運転をしています。

5 列車影響

〈運 休〉 69本（下り32本、上り37本）

〈遅 れ〉 上り普通電車[新三田（11：18）発、高槻（12：41）行]が167分遅れたのを最大に、計122本（上り65本、下り57本）に遅れ

〈影響人員〉 約48,000人

6 原 因

列車の在線を検知するために、レールに溶接している部品（仮復旧作業に使用した器具を含む）が、列車通過時の振動により脱落したためです。

7 対 策

・レールに溶接している部品をより耐震性能の高いものへ取り替えるとともに、脱落を防止

する金具の取付けを実施しました。

- ・より耐震性能の高い仮復旧器具を開発します。